

# 川苔山

M・T

コース：奥多摩8：35→バス→川乗橋8：56～9：05→細倉橋9：40～9：55→川苔山山頂12：14～12：45→奥多摩駅15：20～15：43

参加者：M・T T・H M・S K・N

3台のバスから、どっと登山者が川乗橋で下車。奥多摩駅バス乗り場の混雑でお互いを見失い別々のバスに乗車したが、川乗橋で無事合流。良かった！岩・黄葉・水の流れが美しいハーモニーを織りなす中を細倉橋目指して歩く。



35分程歩いて細倉橋に着くが、登山口に有るトイレも大渋滞。幸い私たちは早く着いたので



4、5人待ちで済んだ。トイレ行列の半分の登山者も写真に納まらなかった。



トイレ近くには水力発電小屋が有り発電量が電光掲示板で示されていた。この電気を利用してここのトイレはバイオトイレであった。

トイレの済んだ人が登山道入り口に列をなし、この先百尋ノ滝までは行列してすすむ。





いくつもの栈道を渡るが朽ち果てているのは少なく良く手入れされているので怖くない。  
視線の先には写真のような景色が広がる。

こんな登りもあり変化も楽しめる。

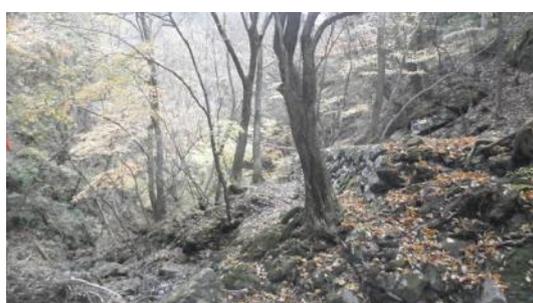


折角、標高上げたのに下り、鞍部では横ヶ谷からの流れを渡る。渡渉地点は綺麗な場所で腰を下ろして休憩するにはもって来いの所です。私たちはすぐ上で休んでしまったので素通りです。残念。今回はこの後にもおかしなところで休憩する事になりました。

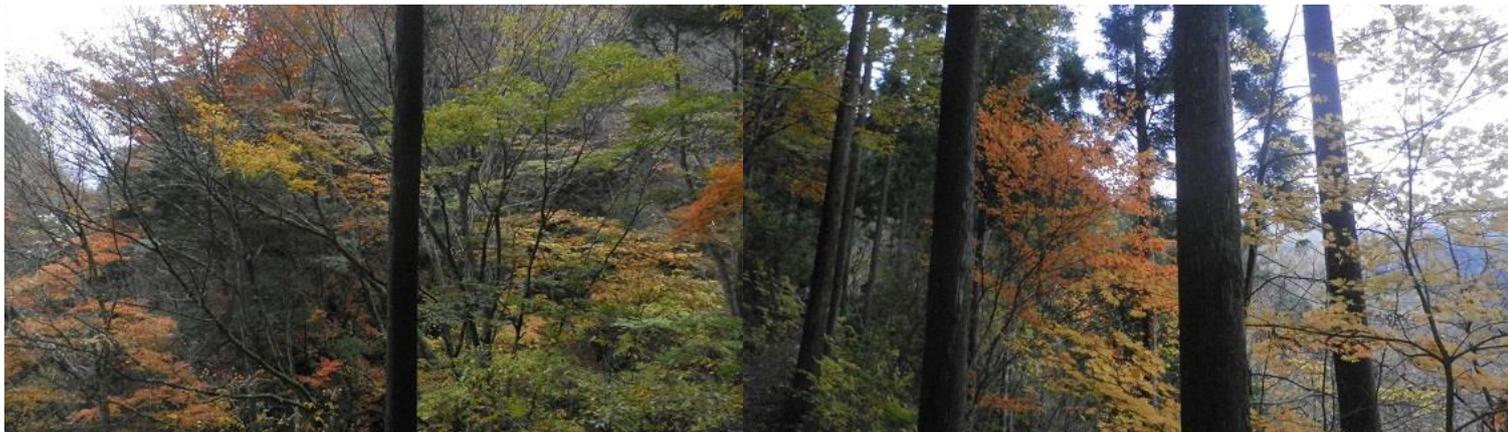


足元の黄色い木の葉はコアジサイとされます。今回の山行で数多く見かけました。

綺麗な石積みもあり人々の行き交う交通の要所だったのだろうか。



渡渉地点からの眺め。



渡渉地点から1時間弱で山頂到着。お疲れ様でした。三角点の標石が新しい石に見えたのが不思議。



下山開始は落ち葉の積もったえぐれた道だった。すぐ上に有る筈の小屋は崩れてなかった。相変わらずガスは濃い。寒い事も有ってひたすら下る。この辺りでは周りの景色に目をやる事も無い。



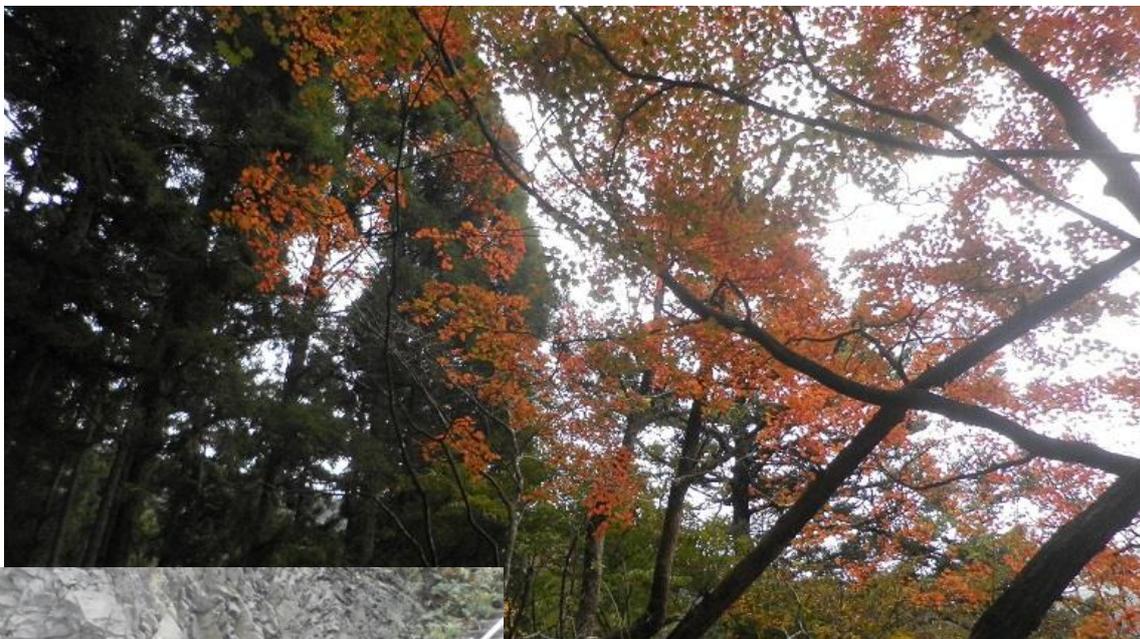
幻想的な雰囲気にも包まれているが立ち留まらずひたすら降りる。



一休みの後に忘れられたシャツが景色を損なう。歩き出す前に身の回りを見回すことを忘れないようにしなければ。霧囲いの良い下りやすい道が続き林床のコアジサイの色付きが目立つ。



コアジサイの黄葉を堪能する下山道。標高が下がるにつれガスも無くなり紅葉・黄葉も綺麗に見える。



針葉樹と広葉樹が上手く共生している道を抜けると山道も終わり後は鳩ノ巣駅に向かうのみ。この階段の上の少し先に大根の山の神の鳥居も有ったが見ること無く素通り。駅に行くことばかりに考えが向かう。



眼下に見える鳩ノ巣の町。駅はここからまだ30分は歩く。

お疲れ様でした。駅前茶店にてお疲れさまタイム。このお店は食事有り生ビール有りでした。私



達は缶ビールで乾杯。電車待ちの間の楽しい時間でした。因みに350ミリ缶が350円でした。

乗り遅れないようにホームへ。奥多摩駅から来るので座れないと思っていたが電車はまだ空いていた。ゆっくり座って帰路に着いた。

